

石巻専修大学

「石巻専修大学」ホームページ <https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/>

石巻専修大学
広報係
☎986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717(直)

2018年4月
創立30年を
迎えます

Pepper社会貢献プログラム 3プロジェクトが活動紹介

市内の高校、企業と連携

本学と石巻市内の高校、企業が連携して地域の人材育成と活性化を目指す高大産連携プロジェクト。今年度は「Pepper(ペッパー)社会貢献プログラム」「こめぼこ商品化プロジェクト」「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」が活動している。



石巻専修大学はPepper社会貢献プログラムに参加しています

本学と3高校、ソフトバンクグループ(東京都)が連携し、人型ロボット「Pepper」を使って社会の課題解決に取り組む「Pepper社会貢献プログラム」は、11月11日にイオンモール石巻で活動紹介イベントを開いた。

経営学部・舛井道晴ゼミは、石巻市立桜坂高校の生徒と開発した石巻の情報を発信するアプリを開発し、高橋研究室が開発した「防災クイズ」を来場者に体験してもらった。照井和成さん(理工4・宮城県仙台台高等学校)は「多くの方に楽しんでいただき充実したイベントになった。興味を持ってほしいな」と話した。

石巻工業高校とコミュニケーションオンラインアプリ作りに取り組む、理工学部・佐々木慶文研究室の伊藤雅敏さん(理工4・宮城県仙台台高等学校)は「コミュニケーションツールとして活用することを考えており、地域の方の協力が必要になる。取り組みを多くの人に知ってもら

り情報交流館のうち「杜鹿館」「雄勝館」「北上館」の3館の日本語と英語を併記した案内チラシの作成に取り組む。

11月18日に市内でワークショップが行われ、人間学部人間文化学科の学生と市内3高校の生徒が参加した。一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンのクリエイティブデザイナー安達日向子氏協力のもと、チラシ原案の作成作業を行った。2月の完成に向け、本学の学生が中心となって各校の生徒や情報交流館から意見を聞きながら作業を進めている。

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

の生徒と開発した石巻の情報を発信するアプリを開発し、高橋研究室が開発した「防災クイズ」を来場者に体験してもらった。照井和成さん(理工4・宮城県仙台台高等学校)は「多くの方に楽しんでいただき充実したイベントになった。興味を持ってほしいな」と話した。

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

「復興まちづくり情報交流館プロジェクト」は、石巻圏域の被災からの復興状況と地域の魅力を内外に広くアピールするため、石巻市復興まちづく

未来石巻市政策コン最優秀賞 経営学部 岡野・田村ゼミ合同チーム

石巻市の「ばん文化復活政策」を提案。集中力やひらめき力を超えて気軽に学べる石巻市政策コンテスト決勝大会(10月29日、本学)で、経営学部(3年次・秋田県西仙北高)は「地域の人がそばをどうとらえているのか、そばを教室や街頭でアンケートを取って良さをまとめた。自分たちもそばの価値を再発見した」と喜びを語った。亀山紘市長は「そばは脳の活性化につながり、認知症の予防にも役立つのでは」と前向きに受け止めていた。

コンテストは同市主催で2回目。本学の4チームをはじめ市内在住・在学の高校生、大学生の計12チームが、市の助言を受けながら、3カ月かけ

「ばん文化復活政策」を提案。集中力やひらめき力を超えて気軽に学べる石巻市政策コンテスト決勝大会(10月29日、本学)で、経営学部(3年次・秋田県西仙北高)は「地域の人がそばをどうとらえているのか、そばを教室や街頭でアンケートを取って良さをまとめた。自分たちもそばの価値を再発見した」と喜びを語った。亀山紘市長は「そばは脳の活性化につながり、認知症の予防にも役立つのでは」と前向きに受け止めていた。

亀山石巻市長が授業 「地域と政策」まちづくり語る

亀山紘石巻市長(元理工学部教授)が全学部全学科対象の基本教育科目「地域と政策」の講師として、11月21日に来学。授業では東日本大震災からの復興状況や施策を紹介し、被災者を支える地域再生計画、地域包括

ケアの展開、地方創世の取り組みについて詳しく説明した。その上でまちづくりに必要なこととして「クリエイティブ」「コミュニケーション」「コンパクト」を挙げ、「石巻市の流入人口を増やすための政策を学ぶことができ、将来に良いイメージを持つことができ」と話した。

荒川翼さん(経営3・宮城県仙台商業高)は「石巻市の流入人口を増やすための政策を学ぶことができ、将来に良いイメージを持つことができ」と話した。

伊豆沼で学外実習

有効利用されていない在来種を新たな地域資源として活用する試みも行われた。2日目はラムサール条約の登録湿地である伊豆沼で渡り鳥の飛び立ちを観察し、環境問題への理解を深めた。高谷貴之さん(理工3・宮城県石巻高)は「昨年と比べ在来種の個体数が増え、外来種が大幅に減少している。確実に生態環境が回復していることを実感した」と話す。

二つ目は1、2年次3人が参加した見学会で、11日に「石巻魚市場」と水産加工会社「株式会社スイシン」を訪れた。見学先の沿革、業務内容や石巻市の産業部門別生産額に占める漁業と水産加工業の割合などについて事前調査したうえで、現地調査に臨んだ。訪問後、「会社として食品を出すためには、これほどまでに厳しいチェックが必要なのだ」と現場を見て改めて感じた「卒業後の進路を考える上で貴重な体験になった」との感想が寄せられた。学生たちにとって、生産現場の現状と課題を把握するとともに食の安全や将来について考える機会となった。

吹奏楽研究会の定期演奏会が12月3日、5号館学生ホールで開催された。103人の来場者前に、会員19人がヤン・バンデルロースト作曲「アルセナール」など幼稚園訪問時に演奏している楽しい楽曲をはじめ、クリスマスソングなど全15曲を演奏した。阿部貴弥会長(人間3・宮城県石巻高)は「今年度は復興公営住宅や老人ホームでの演奏など地域に根ざした活動を行い、たくさんの方と交流できた。このつながりを大事にし、来年もさまざまな場所で演奏したい」と話した。

経験をゼミ活動に生かす

2年次から「ITによる社会貢献」がテーマの舛井道晴ゼミで活動してきましたが、自分の知識不足を痛感。情報というものをさまざまな視点から学びたくて、専大では「経営情報論」「情報通信ネットワーク論」「情報システム基礎」などを履修しました。専大で所属した植竹朋文ゼミのテーマは、舛井ゼミと重なる「情報技術を用いた問題解決」。文献の輪読やグループ討論、プログラミングの勉強のほか、企業見学で社員の方から話を聞く機会もあり、東京で就職したいという気持ちが強くなりました。

周囲との距離が縮まる懇親会は楽しいですが、費用がかさむため、週末は交通整理のアルバイトも頑張りました。職場の方の気遣いもあり、関東の暑さのなか、勉強と両立させることができたのは良い経験になったと思います。現在は舛井ゼミに戻り、石巻市の住民バスの利用状況を調査しています。宅配便の配送と組み合わせて、路線の維持と雇用の創出などを目指す実践プロジェクトの一環です。地域に役立つ情報技術のあり方を考えています。(終)

鈴木 朋也さん(経営3・宮城県仙台工業高)

石巻 → 生田 国内留学 体験記③



植竹ゼミで。後列左から2人目が鈴木さん